

2012年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

友愛学舎・ゲストハウス・レジデントアシスタントを中心に各学生サークルの連携をはかり、留学生へ情報発信を積極的におこなうようにする。双方の学生が刺激しあい成長していけるような環境づくりを行う。

■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施する。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的とするが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供する。また、歌舞伎鑑賞教室、もちつきなど他団体とも協力し場の提供を行う。

■国際理解講座 Global Understanding

毎週1回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学ぶ。コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導する。

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

奉仕園「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア日本語講師として留学生及び在住外国人に日本語を教える。水曜日は午前1クラス・午後2クラス、金曜日は午後1クラスで開催。通常の活動のほか、課外授業、お茶会、新年会、学習者発表会、講師の研修会など随時行う。

■あすなる会

知的障がいをもつ子どもたちと遊ぶボランティア活動をおこなう。毎週土曜日に活動とミーティングを行い、学生が選ぶ委員会を中心として企画・運営を行う。春季はお泊まり会、夏季は夏遠足、秋季は焼き芋会、冬季はクリスマス会を開催。サマーキャンプや春旅行は

参加見込を考慮して学生が開催の可否を検討する。その他、奉仕園クリスマス会には料理を出す等の協力が適宜ある。あすなる会創立50周年を迎え、記念イベントを実施する。

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動

友愛学舎・信愛学舎・山手学舎（早稲田学生寮チーム）の三学舎間で協力関係を築きながら、継続的な被災地支援活動を行う。冬季には昨年度実施したシクラメンプロジェクトの第2回目を開催予定。日本の大学生と留学生が活動を通して交流する場となることも期待する。その他のプログラムは適宜、担当者間で検討する。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジアの言葉の語学講座及びアジア各地の文化理解を促進するプログラムを随時実施する。

①語学講座

韓国語、タイ語、ベトナム語、ベンガル語、ヒンディー語、モンゴル語、クメール語、ラオス語のクラスを開講のほか、2012年7月、2013年3月に集中講座を開講予定。

②特別講座

アジアに関するテーマを取り上げる講座や展示会を随時開催。

■英語講座

開講クラスは全3クラス。基礎英語（2クラス）では英語でのコミュニケーションを身につけることを目指す。ディスカッションクラスでは、世界で起きている様々な問題への理解を深め意見交換すると共に英語のブラッシュアップを図る。

■日本語ボランティア養成講座

外国人への日本語教授法が半年間（全16回）でコンパクトに学べ、日本語ボランティアへの活動がダイレクトにできる日本語ボランティア養成講座「初級Ⅰ」を開講。引き続き、初級から中級レベルへの橋渡しがスムーズにいくように重要表現文型とその教え方を学ぶ「初級Ⅱ」（全10回）、学習者のレベルが広範囲でニーズも多様化するのに合わせ、適切で効果的な教授法が学べる「中・上級」（全6回）講座を開講。1年を通して、学習者のレ

ベルに合わせたこれら3つのクラスが学べる充実した講座を目指す。

講師：数土容子（武蔵大学講師）

■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

昨年11月から始まったゴスペル講座で継続して練習を続ける。年に1度、クリスマス発表会を開催。発表の場に向けて基礎から積み上げていく。奉仕園に集い、仲間ができ、歌うことで元気になり、さらに実力がつくようにする。継続できない期間があっても何時でもカムバックできるような講座にする。

前期：シーズン①4月より全7回、シーズン②7月より全7回

後期：シーズン①10月より全7回、発表会12月20日於スコットホール、

シーズン②1月より全7回

いずれも木曜日14：00～15：30

講師：藤田聖子（プロシンガー）

■鈴木喜一の水彩画レッスン

前後期に各6回開催、初心者向けに実技を丁寧に指導する。静物画や野外スケッチ、作品講評を中心とした内容となる。講座終了後は作品展を早稲田スコットホールギャラリーで開催する。

講師：鈴木喜一（武蔵野美術大学講師）

■聖書講座（日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催）

テキスト：「旧約聖書と新約聖書－『聖書』とは何か」

2011年末に上梓された本書は「聖書」の権威を生成してきた「教会」や「教義」の伝統を離れたところで、「聖書」を読む試みを展開している。神学や教義の前提を排したところにある聖書の語る〈いのち〉に出会う。講座は、あらかじめ定めたレポーターによる発表に、講師が応答する形の対話形式で進める。

期間：6月から月1回、全5回

講師：上村静（東京大学講師）

(4) 学寮運営事業

■友愛学舎

舎生数：2012年度は4年生2名（女子2名）、3年生3名（男子2名・女子1名）、2年生4名（男子2名・女子2名）に加え1年生4名を募集。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日～金曜日の7時～7時30分、聖書講読（ルカによる福音書）及び学生発表・3L活動等を行う。

指導は古賀博牧師（早稲田教会）、大矢直人牧師（東京平和教会）

石戸充氏（早大YMCA信愛学舎舎監）、有住航伝道師（早稲田教会）

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動 4月 入舎式および歓迎会

5月 三学舎(友愛・信愛・山手)交流会

6月 奉仕園ホームカミングデー

9月 ジャパニーズナイト

この他、信愛学舎・山手学舎と協力し東日本被災者支援活動を継続する。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。年に2回～3回昼食会を開き、舎生同士の交流を図る。奉仕園プログラムには積極的に参加、協力を呼びかけている。

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮152室で運営。レジデントアシスタント（RA）がRAルームに平日の19時～21時まで常駐する。早稲田大学留学センター、国際課、ナジック学生情報センターと連携をとって運営を進めていく。交換留学生に加え、短期間のプログラムの学生の宿舎として利用されることも多く年間を通じて安全かつ快適な生活のためオリエンテーションなどにも工夫をする。

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めると共に、インフルエンザの流行対

策を始め大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっている。

カウンセラー：吉田豊医師、紀野久美子保健師

開室時間：毎週月曜日 13：00～15：30

毎週水曜日及び木曜日 13：30～17：30

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症（インフルエンザ等）についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月8日に開催する。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを予定。RAを中心に留学生に参加を呼びかけ、アトラクションなどへの出演や郷土料理の調理、紹介などをお願いする。

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園OB OG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、稲門会など

実施期間：前期6月4日（月）～7月8日（日）

後期10月9日（火）～12月9日（日）

■第9回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名

期間：5月下旬から6月上旬 2泊3日

協力：早稲田大学留学センター、財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡小学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第3回富士山登頂旅行

YMCA東山荘に受入を依頼し、日本人学生・留学生・研究員と一緒に登頂を目指す。事

前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーを行い全員の登頂を目指す。

人数：学生15名くらい

期間：8月上旬の2泊3日（1泊は山小屋）

協力：YMCA東山荘

■第7回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名、日本人学生若干名

期間：2月初旬から3月中旬の2泊3日

協力：早稲田大学ICC、YMCA東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、箱根観光等

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■会議室・ホール・早稲田スコットホールギャラリー

備品・設備の改善を適宜行い、利用拡大に努める。ギャラリーは数回の企画展を開催し、若手アーティストの活動を支援すると共に、利用者の拡大に努める。

■プログラム（協賛を含む）の開催

年3～4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業（11月頃）を行う。チャリティー古本市（5月、10月）を実施する。

3. 法人総務関係

■賛助会員

公益財団法人格の取得したことを契機とし、公益団体としての認知度を高め、広く個人・諸団体からの支援を得るため賛助会員の拡大をはかる。

■広報

奉仕園通信の発行は年2回、カラー版での発行を予定している。ブログ、フェイスブックなど多様なメディアによる情報発信を充実させる。

■財団会議

理事会 第1回定時理事会（2012年6月8日）

第2回定時理事会（2013年3月）

評議員会 第1回定時評議員会（2012年6月19日）

常任理事会 数回開催

■キリスト教施設長会議

2013年1月30日～2月1日 於北海道キリスト教センター